



かなざきひさを応援する会・会報 36号 事務局 上山口 1878-9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

葉山町議会第1回定例会が開催されました。 期日平成21年2月24日～3月25日

○平成21年度予算特別委員会が設置され、かなざきひさが委員として参加し、4点の修正をした後、可決いたしました。

会計名	本年度予算額	前年度現予算額	比較増減
一般会計	約87億8432万円	約97億5341万円	△9億6909万円
国民健康保険特別会計	約34億1427万円	約34億1323万円	104万円
後期高齢者医療特別会計	約6億8217万円	約6億3521万円	4696万円
老人保健医療特別会計	約824万円	約2億5203万円	△2億4379万円
介護保険特別会計	約22億1351万円	約21億6017万円	約6690万円
下水道事業特別会計	約16億531万円	約13億9604万円	5334万円
合計	約167億783万円	約176億1008万円	△9億220万円

○修正箇所

- くれ竹の郷葉山推進事業** (91万1千円を736万4千円に修正)
 町民との協働でまちづくりを推進するために平成16年に設立されたNPO法人「葉山まちづくり協会」への委託を何の調整もなく突然廃止しました。更に町長の描く将来展望は、今まで同協会が積み上げてきた実績を無にし、町民との協働のまちづくりをゼロからスタートさせようとする、無駄の積み重ねとしか言いようのないものです。町民との協働のまちづくりを継続するためにも、21年度中に行政は同協会と今後の指針等を協議・検討する必要があるという観点から、前年度比マイナス15パーセントシーリングで修正しました。
- 姉妹都市宿泊費助成制度事業** (0円を74万円に修正)
 草津町との姉妹都市交流の一環として、町民1人あたり2泊まで助成を行っていましたが、全廃の予算編成でした。財政難の折、仕方ないかとは思いましたが、その決定に至る経緯が、首長にあるまじき配慮のなさであり、森町長の調整能力のなさに唖然とするものでした。そして、町民へのサービスは全廃したにもかかわらず、町長が草津町へ出向く費用は43万円計上しております。ステップを踏むという観点から、1人1泊までの助成を修正しました。
- 小学校運営事業** (2506万2千円を2801万6千円に修正)
- 中学校運営事業** (1111万8千円を1226万8千円に修正)
 この2事業の中の公立小中学校の社会見学補助金に関する修正をしました。町長提出の予算案では教員の下見費用各校5万円を残すのみで全面カットとなっておりますが、社会見学は子ども達の学習意欲や、様々な好奇心を醸成するために必要な事業であり、また、友達との思い出づくりに欠かすことのできない行事です。保護者の負担軽減を図るために、前年度に比べマイナス15パーセントとなりますが、補助すべきと思いました。
- 中学校教育振興運営事業** (202万4千円を215万1千円に修正)
 中学校での部活動は、その子ども達の心身の成長には欠かすことのできない大変重要な課外活動であり、人生を大きく支配するものでもあります。「教育は私の最大のテーマ」と町長は折にふれ、述べられておりますが、実際には教育費も15パーセントシーリングをかけ、その言葉とはうらはらな行動です。将来を託す子ども達への投資は積極的にするべきであり、教育予算に関して枠配分はそぐわないと町長に指摘しました。

町長選挙において森英二候補者は、守屋町政を支援していた他の候補者にはできないこととして「補助金の厳格な見直しを行う」とのマニフェストを掲げ当選をしました。私の質問に対し「21年度予算では厳格に見直す」との答弁を頂いておりましたが、町長部局は前年度並みでした。予算委員会で町長に対し、「見直しの基準」を質問したところ、「平成17年に出された見直し基準に基づき補助金を決定した」とのことでした。平成17年とは守屋町政であり、平然と答弁する森町長に私は唖然といたしました。予算の増額修正に違和感はありますが、新町長としてみずから描く町の将来像にそって、必要なところには厚く切るべきところは切る、という予算編成をするべきであったと思います。

議会の判断にかなざきひさは怒っております

- 在宅心身障害者手当の支給が重度障害者のみ20歳以上が対象外となりました。
- ごみ広域処理の離脱による損害賠償請求に対し町費の支出をしないようにとの陳情が否決されました。

○ かなざきひさの一般質問

議員として一般質問は、町民の皆様の想いを施策に映す大切な機会であり、与えられた1時間を最大限に活用して参りましたが、今回は、森町長が答弁をむやみに引き伸ばし、議長に制止されるまで、30分もだらだらと、質問事項以外にも及び、その人間性を疑うものでした。議会ホームページで録画中継されておりますので、御覧下さい。残りの時間での一問一答は以下のとおりです。

(1) 葉山港管理について

質問と提案	理事者側の答弁
葉山港の管理について21年度は委託されているが、22年度からは指定管理が民間を含む公募となった。葉山町は応募するのか。	4月から5月にかけて公募および現地説明会を行うとのことであるので、どのような方々が応募するか見極めながら判断をする。(町長)
葉山港管理費は県からの委託金7000万円強であり、12人の職員の人件費等となっている。この管理から葉山町が外されることによる町への悪影響は感じていないのか。	指定管理から外されても、港湾管理事務所から町へ上がる収益である印紙販売の仕事だけは確保していきたい。(町長)
印紙販売の手数料は観光協会の収益であり、町とはかわりがない。そのような間違った認識で、12人の職員の働く場を奪われる事態を、みすみす何もしないで状況をみているだけで良いのか。	指定管理が受けられるようにあらゆる努力をする。(町長)

かなざきひさの考え 県の設備である葉山港の管理は、県条例により葉山町にまかされておりました。しかし、昨年、葉山港において死亡事故があり、安全面における改善策が問われておりましたが、対応が遅く、遂に県条例の改正が行われ、民間も含む公募となりました。この管理が葉山町でなくなる事の重大さを考えると、今更「あらゆる努力をする」のではなく、公募とする県条例改正前に、町長が県に対して、早急に対応すべきことであつたと思います。森町長が就任して一年、多くの事例で、町長の調整能力のなさを感じております。

(2) 水環境について

質問と提案	理事者側の答弁
3団地のコミプラについて、今後の方針は。	極力補修をしながら現状の施設を生かすことが、浄化センターに汚水が流入する量をセーブできるのでプラスと考えている。(町長)
予算委員会では担当課から、公共下水道につなぎたいとの考えを伺っているが、職員へ指示はしていないのか。	築30数年経過しているので、補修費用を見極めながら公共下水道につなぐ時期の問題も出てくると思う。(町長)
公共下水道事業が財政破綻を起こすとの発言をしながら、従来どおりに推進している。水環境に関して、町長の描く方策とは。	市街化区域は数年先に面整備を一時凍結ということも視野に入れ、市街化調整区域は合併浄化槽で整備をしたい。(町長)
4月頃から市街化調整区域で説明会を開催するとのことであるが、市町村管理型の合併浄化槽についての説明か。	それも含め、近隣でのごく小さなコミプラ式についても理解を深めていきたい。(町長)

かなざきひさの考え 公共下水道事業に関しては、町長選挙の折、批判の対象とした森候補者でしたが、町長になったとたんに推進派に転じております。すでにマニフェストとの整合性はとれておりませんが、私としては、きれいな海と川を将来の子ども達に残すための施策の推進を提案し続けて参ります。

(3) 町長職の役割について

質問と提案	理事者側の答弁
ごみ処理広域化からの離脱、葉山港管理の変更、草津町町長との話し合いなしの宿泊費補助のカットなど、森町長には調整能力が欠如していると心配しているが、町長職の役割についてどのように考えているのか。	みずからの責任において町政運営の舵取りを行っていくことこそ、私自身の役割であると認識している。(町長)
町長の答弁に一貫性がなく、本会議出席の部長達が困っている様子が随所に見られるが、職員との信頼関係を町長みずから崩しているのでは。	職員とはコミュニケーションをとって、統一した対処をしている。(町長)
御用邸のある町として、皇室のご送迎は大切な町長の任務と思うが、飲酒をしてお見送りをした経緯がある。戒めるべきではないか。	飲んで数時間後のお見送りであるので、全然影響はない。(町長)

かなざきひさの考え 飲酒に関しては大晦日に出先で酩酊をして夫婦喧嘩をしたとの話も聞いており、365日町長であるとの認識を持っていただきたいと提言いたしました。そのことに関し、妻である森勝美議員から「うそであるので訂正をしてくれ」との発言がありました。この話は、証言をしても良いという方からの「町民としてはずかしい」という思いでの申し出であり、議員として町長に伝えるべきことと思ひ、提言いたしました。多くの方々に見られている事実を、本会議の席上で「真実ではない」と言った森勝美議員こそ議員として問題であると感じました。

